

# ピックアップ★



## 古代群馬の歴史を探れ!

県では、多くの子どもたちに「ふるさと群馬」への誇りを持ってもらえるよう、東日本の中心として繁栄していた古代の群馬について学べる、親しみやすいツールを提供しています。ぜひご家庭でもご活用ください。

### 東国文化副読本

#### 県内の中学1年生に配布



古代の群馬がなぜ繁栄したのかや当時の暮らし、代表的な史跡などについて、写真やイラストを使用して分かりやすく解説しています。

**1冊200円(税込)で販売中**

販売場所などは、[県ホームページ](#)でご確認ください。



#### 中学校の授業でも大活躍



副読本を活用した授業

草津町立草津中学校では、古代の群馬について、東国文化副読本を資料にして調べ、各自新聞にまとめて発表する授業を行いました。群馬が東日本最大の古墳大国となった理由や、ヤマト王権との関係の深さなどについて発表がありました。

●問い合わせ：文化振興課 027-226-2525

### スマホアプリ「ぐんま古墳探訪」

#### 4,000ダウンロード突破! スタンプを集めて記念品をゲット



県内の代表的な古墳や遺跡、関連する博物館を楽しみながら巡り、その魅力や価値を知っていただくアプリです。

古代の群馬に関連したイベント情報などもお知らせしています。

指定された古墳や施設に近づいて絵をタップするとスタンプがもらえ、3種類あるコースを1つクリアすると記念品がもらえます。

※記念品は各コース共通

記念品の引き替え方法はアプリの「掲示板」をご覧ください。

#### 書籍版

#### 「ぐんま古墳探訪」もおすすめ

県内の主な書店や県庁2階県民センターなどで販売。

**918円(税込)**

アプリのダウンロードはこちら



●問い合わせ：文化財保護課 027-226-4696

# 文化財ライブラリー

Vol. 11

## 峠の坂道を克服した鉄道技術

### 国指定重要文化財

うすいとうげ

## 旧碓氷峠鉄道施設

場所：安中市松井田町地内  
時代：【開通】明治26年  
【廃線】平成9年

旧碓氷峠鉄道施設は、群馬県の横川と長野県の軽井沢とを結んでいた、碓氷峠越えの旧信越線の鉄道施設群です。碓氷峠は交通の要所であるとともに急な坂道がある難所でもあります。

この峠に鉄道が通ったのは、明治26(1893)年のことでした。急な坂道を克服するため、ドイツの山岳鉄道などで使われていたアプト(アプト)式という技術を採用し、18基の橋と26カ所のトンネルが造られました。また、強い力がレールにかかっても大丈夫なように、橋のほとんどはレンガ造のアーチ橋となっています。

橋やトンネル、変電所などの明治期から戦前にかけて残っている鉄道施設のほとんどは、国指定重要文化財です。



第3橋梁《通称：めがね橋》



丸山変電所【写真：安中市教育委員会提供】

### 「アプト式」って何?

アプト式とは、2本のレールの間にラックレールと呼ばれるノコギリの刃のようなギザギザのあるレールを敷き、これに機関車の歯車をかみ合わせて、急な坂道でも列車が滑らないようにする仕組みです。

一般的にはアプト式と言いますが、旧碓氷峠鉄道施設では、英語の発音に近い「阿武止(あぶと)式」と呼んでいました。



アプト式のレール  
【写真：安中市教育委員会提供(平田一夫氏寄贈)】

### アプトの道を歩こう

アプト式鉄道時代の廃線敷を利用して、横川駅～熊ノ平駅の間は、遊歩道「アプトの道」として整備されています。紅葉がきれいな秋、見どころたくさんの遊歩道をゆっくり散策してみませんか。

アプトの道



●問い合わせ：文化財保護課 027-226-4684